

第3回 石巻地区広域行政事務組合 新ごみ処理施設整備検討委員会 議事録

[日時]：令和6年8月28日（水）午後2時00分から午後4時00分まで

[場所]：石巻地区広域行政事務組合 4階 大会議室

出席委員（12名）

依田 清胤	委員長	石巻専修大学 理工学部 生物科学科教授
八鍬 浩	副委員長	公益社団法人 全国都市清掃会議 技術部長
梶原 光弘	委員	宮城県東部保健福祉事務所 技術副所長兼環境衛生部長
高橋 誠志	委員	石巻市地域連携会議 会長
木村 美保子	委員	石巻商工会議所女性会 会長
伏見 不二雄	委員	石巻市廃棄物対策審議会 副会長
川村 久美	委員	石巻市環境審議会 副会長
吉木 妙子	委員	東松島市商工会 理事
阿部 求	委員	女川町行政区長会 会長
五十嵐 秀彦	委員	石巻市 市民生活部 部長
藤田 英俊	委員	東松島市 市民生活部 部長
千葉 泰広	委員	女川町 町民生活課 課長

欠席委員（1名）

及川 輝明	委員	宮城県漁業協同組合矢本支所 運営委員長
-------	----	---------------------

事務局出席者 石巻地区広域行政事務組合（9名）

木村 芳正	事務局長
吉田 稔	事務局次長
鈴木 敏寿	施設管理課長
吉木 真也	施設管理課長補佐
勝又 武志	施設管理課 技術主幹兼施設整備係長
武山 貴	施設管理課 主幹兼管理係長
秋保 祐二	施設管理課 技術主幹
齋藤 正孝	施設管理課 主幹
武山 貴大	施設管理課 主任主事

新ごみ処理施設整備基本計画策定支援業務委託事業者

パシフィックコンサルタンツ株式会社（4名）

大木 雄介
安藤 智之
太田 望斗
立野 悠太

次 第

1 委員長挨拶

2 報告事項 先進地視察での意見について【資料1】

3 議事

- (1) 石巻広域圏におけるごみ処理の課題及び検討方針等の整理（案）について【資料2】
- (2) 石巻広域圏における資源化の現状と集約化の可能性の検証（案）について【資料3】
- (3) 新ごみ処理施設整備の基本理念、基本方針及び検討方針（案）について【資料4】
- (4) その他

4 その他

【配布資料】

資料1 先進地視察での意見について

資料2 石巻広域圏におけるごみ処理の課題及び検討方針等の整理（案）

資料3 石巻広域圏における資源化の現状と集約化の可能性の検証（案）

資料4 新ごみ処理施設整備の基本理念、基本方針及び検討方針（案）

1 委員長挨拶

【事務局】

本日は委員13名のうち12名の御出席をいただいております。過半数以上の出席となっておりますので、新ごみ処理施設整備検討委員会条例第6条第2項の規定により会議が成立していることを御報告いたします。

本日の会議は次第に基づき進めさせていただきます。それでは1委員長挨拶をお願いいたします。

【委員長】

お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。心配していた台風ですけれども、まだ影響がないということで、幸い青空も見えまして、この会議もゆくゆくは青空が迎えられるような形にしていきたいと思っておりますので、積極的な議論を是非よろしくお願いいたします。

2 報告事項 先進地視察での意見について【資料1】

【事務局】

続きまして、2報告事項につきまして事務局から説明をお願いいたします。

【事務局】

それでは報告事項、先進地視察での意見について説明いたします。

〔資料1について説明〕

【事務局】

ありがとうございます。只今の先進地視察での意見について、委員の皆様から何か質疑などございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

〔「特にありません」の声あり〕

3 議事

【事務局】

それでは3の議事に入りたいと思います。議事の進行につきましては、新ごみ処理施設整備検討委員会条例第6条第1項の規定に基づき、委員長が議長になります。それでは委員長、よろしく願いいたします。

【委員長】

ではよろしく願いします。今日は議題が3つあります。1つ目が、石巻広域圏におけるごみ処理の課題及び検討方針等の整理について、これは第1回目の会議の際に、委員の皆様から御提案いただいた内容をまとめたものということになります。議題の2石巻広域圏における資源化の現状と集約化の可能性の検討、これは2市1町のごみ処理に関する現状に関してのまとめということになります。今日一番大事なのは、議題3となりまして、新ごみ処理施設整備の基本理念・基本方針及び検討方針についてということで、この委員会の中で骨組みを作るものになろうかと思えます。今日はこの骨組みをしっかりと作るというのが、大きな目標ということになります。それを受けて例えば、今、御紹介いただいた先進地での意見あるいは議題1にて整理している1回目の委員会での委員の皆様御意見、それぞれ個別の事象ということになろうかと思えますが、この基本理念、基本方針の上に肉付けする形で作り上げていく、そういった方針になろうかと思えますので御承知おきいただきたいと思えます。

もう1つ、資料4を御覧いただきたいのですが、先ほど資料1の中で基本方針の1から6までが挙げられていますが、これは、議題3の中で取り上げる資料4の1ページの一番下に、施設整備・運営の基本方針に方針1から6までが明示されておりまして、それぞれに対応するものが先ほどの資料1の基本方針の1から6までということになります。また、後から出てきますけれども、資料2石巻圏域におけるごみ処理の課題及び検討方針の整理にて、基本方針、処理方式の検討方針などの項目がありますが、これは資料4の3ページ目、この施設整備におけ

る検討方針の中の処理方式の検討方針、施設整備の検討方針等の項目に対応するものということになりますので、御承知の上、議論を進めていただければと思いますのでよろしくお願いいたします。

(1) 石巻広域圏におけるごみ処理の課題及び検討方針等の整理（案）について【資料2】

【委員長】

では早速ですが、議事(1)石巻広域圏におけるごみ処理の課題及び検討方針等の整理（案）について、資料2ということで、事務局の方から説明お願いいたします。

【事務局】

それでは、石巻広域圏におけるごみ処理の課題及び検討方針等の整理（案）について、資料2にて説明させていただきます。

[資料2について説明]

【委員長】

ありがとうございます。今、説明ありました中で資料2の1ページ目、これが1回目の委員会で委員の皆様から御提案いただいた内容ということになります。それについて、2ページ、3ページ、4ページで、事務局でこの5つの項目に分けてまとめていただいて、先ほども申し上げましたけれども、この5項目というのは資料4の3ページにある施設整備における検討方針の5つの項目に対応するものということになりますので、御承知おきください。これに関して基本方針3、4、5辺りは、この基本構想というわけではなく、具体的な計画の中で検討していかなきゃいけないという気はします。特に、基本方針1、2、3辺りは、ある程度検討していく必要があるかという気はしていますが、いずれにしても基本方針が決まって、その上で肉付けをしていく内容ということになるかと思いますが、今、説明があった内容について何か委員の皆様から御意見、御質問等ございますでしょうか。

【委員】

3ページ目、検討方針区分の(2)施設規模の検討方針、この課題の概要で、プラスチック分別によるごみ量といった部分がございます。これについて、今後、例えばプラスチックを石巻広域圏で処理した場合、施設規模に影響があると思っております、これについてどのようにするかお聞きしたいと思います。

【委員長】

この件に関してお願いします。

【事務局】

プラスチックの分別による影響を反映するという内容ですが、当然、プラスチックの分別が始まればごみ量が減りますし、カロリーが低いごみになります。そのような状況を基本計画にて分析いたしまして、どれくらい減るかというの見込んだ上で、実際の施設規模を設定するような形になります。

【委員】

これに関してごみ量のことは理解いたしました。プラスチックを分別したことによって、リサイクルが可能なものの資源化という作業が出てくると思います。それらを資源化するために、中間処理施設若しくは保管するストックヤード的なものが、この新ごみ処理施設の中には必要になるとは思っておりますが、その点についてはどのように表現をするのでしょうか。

【事務局】

新ごみ処理施設において、プラスチック分別に対する一時保管場所やその中間処理を行うことは検討できないかという御意見かと思うのですが、後段の議論の中で新システムの取り組みという部分がございます、その中で組織市町の共通施策を推進するというようなものを設けております。当然、今後の進み具合、状況によって、それが効率的であるのであれば、検討はしなければならないと考えてございます。それにつきましても組織市町の各々の施策がある中で、組織市町と話し合いながら、よりよい方策を検討できればと考えております。

【委員長】

これは議題(2)と関連するところで、また改めて検討していくということになるかと思えます。他にございますでしょうか。

〔「特にありません」の声あり〕

では、石巻広域圏におけるごみ処理の課題及び検討方針等の整備に関して、お認めいただいたということにさせていただきます。

(2) 石巻広域圏における資源化の現状と集約化の可能性の検証（案）について【資料3】

【委員長】

続きまして、議題(2)石巻広域圏における資源化の現状と集約化の可能性の検証（案）に

ついて、資料3に基づいて事務局の方からお願いします。

【事務局】

それでは、(2)石巻広域圏における資源化の現状と集約化の可能性の検証（案）について説明いたしますが、こちらについては業務委託しておりますパシフィックコンサルタンツにて検証していただいているところですので、パシフィックコンサルタンツから説明いたします。パシフィックさん、よろしくお願いいたします。

【パシフィックコンサルタンツ】

それでは、御紹介に預かりましたパシフィックコンサルタンツの方から、資料3石巻広域圏における資源化の現状と集約化の可能性の検証（案）につきまして、説明させていただきます。

〔資料3について説明〕

【委員長】

ありがとうございます。現状として、資源化中間処理施設は分散しているものの資源化の割合は県の平均64%に対して石巻圏域では63%であるので比較的うまくいっている。一方、最終処分、埋立てに関しては県平均が13%であるのに対して石巻圏域では31%であるということで、この点が大きく改善する余地があるとのことですが、この件に関して何か御質問、御意見等ございますでしょうか。

【委員】

集約の可能性というところで最大の効果を得られる最適なタイミングではないという言い方をされていますけれども、この最適なタイミングというのは現時点でのお話という認識でよろしいでしょうか。要は、実際に施設が建つ10年後までを見据えた上での最適なタイミングということなのかを確認したいです。

【事務局】

基本的には、組織市町のそれぞれの施設でうまくいっている部分については、それを活用していただいて、今現在で、10年後にどういった部分を集約するのが効果的であるか考えております。各施設はいずれ老朽化して更新時期を迎えることになるかと思えます。今後、人口減少とか、社会情勢の変化、財政負担を考慮すれば、集約化は効果的な方法と考えられ

と思います。ただし、各施設で耐用年数も違いますし、施設によって様々な事情もあり、それを統一した考えにするためには検討に時間を要すると考えております。そのため現時点での集約化に関する検証結果となっております。今後、組織市町と考えていかなければならないことですが、将来的な隣接地での整備という考え方で進めていければと考えております。

【委員長】

ありがとうございます。パシフィックさんから何か意見ございますでしょうか。

【パシフィックコンサルタンツ】

先ほどの事務局の考えと同じでございます。

【委員長】

ありがとうございます。例えば国の補助金を考える上では広域処理ということで色々と課題はあるかと思いますが、2市1町で協議をして作り込んでいく必要があるかと思います。

【委員】

この施設整備が終わる10年後から話を改めてしていくのではなくて、是非、同時進行で話をしていただきたい。また、議論をスタートするタイミングも見定めてほしいと思います。これは要望です。

【委員長】

それはとても大事なところかと思いますし、それぞれの地域の特性というのもありますし、そのあたりの擦り合わせは必ず必要になってくると思いますが、しっかりとした議論の積み上げは非常に重要になろうかと思いますので、引続き御協力をお願いできればと思います。他によろしいでしょうか。

【委員】

集約化の問題ですが、地域でそれぞれやっている事情があるというのはわかります。ですからこの時点で集約というのは難しいかもしれませんが、今後、集約をしていくとするならば、設備やストックする場所といったごみ処理施設を建てる以外にスペースが必要になるということを考えれば、この機会に考える必要があるのかと思いますので、検討材料というこ

とで考慮いただければ大変ありがたいと思います。

【委員長】

ありがとうございます。広域ということ念頭に置いた形で案を提示していくことができれば、この委員会としては役目を果たせるかなと思いますので、その点も含めて委員の皆様にも是非、積極的に御発言いただければと思いますのでよろしくお願いいたします。

【委員】

相応の投資というところに私もずっと気になっておりまして、10年後であろうが、5年後であろうが、人口が増えることはあまり期待できないだろうと思います。人口が10年後に、石巻市だけは大体は伺っているのですけれども、もっと減る可能性もあるかもしれない。そして、広域での人口減少というのも、ある程度の想定した数字は出てきていると思うのですが、高齢化が進み、少子化が進み、例えば人口が30%減少するから税収が30%減少するとは思えないです。労働者の人口が減れば税収も減っていくのではないかと考えています。だとすると、もっと歳入が減っていくとも考えられて、その中で10年後にそれ相応の投資をしながらこの計画を実現することが本当に可能なのかどうかというのが、非常に心配されるところです。なので、将来の人口減少と財政状況がある程度想定されているのであれば、教えていただきたいと思います。

【事務局】

大変申し訳ございません。確実に人口と税収は減るかと思うのですが、それらの数値的な部分はまだ把握できておりません。ただ、10年後にはどちらも減少していく中での投資でありますので、今回の構想、計画の中で必要な規模、費用と効果も含めて、最適な検討を行うことになるかと思えます。

【委員】

ありがとうございます。ビッグデータがある程度出ているので、その中で想定されると思うのですが、ビッグデータ以上に進んでいるという体感です。何故かという、この3年間で出産の数が5年前に想定されていたビッグデータより減っておりまして、0歳児や1歳児の人口が想定よりも減っております。そうなってくると5年後であっても厳しいことが想定される。だとすると、ある程度現実に即した計画というのがあっていいのではないかと思います。参考意見とさせていただきたいと思います。

【委員長】

人口減少は明らかです。特に東北は全国の中でも人口減少が著しいですし、その中で、石巻市は平均より多く減少しているというのがデータとしては出てきているということですね。ですから、その点に関しては見越した形でやっていかななくてはいけないでしょうし、パシフィックさんにはそのあたりも含めて分析いただけるといいのかなという気はします。どうしても、ついつい大きくなってしまいがちなところもあろうかと思しますので、適切な落としどころを探っていくというのはすごく大事なところかと思えます。そういった点も御意見いただけると非常にありがたいと思えます。引続きよろしくお願いします。今の件に対してはよろしいですか。

【委員】

これはあくまでも意見なのでよろしいです。

【委員長】

ありがとうございます。他にお願いします。

【委員】

一般論という形で言わせていただきますが、先ほど資源物中間処理施設の広域化について議論してほしいという話がありました。資源物中間処理施設については、今やっているものはそのままやりましょうという考え方が1つあります。ただ、先ほどもありましたように老朽化していきます。いつかそこを建て替えしなければいけないとなってくると、それぞれの地域、資源化中間処理施設が問題を抱えているというのであれば、そこをまず解決しないと、これを進めていいかどうか議論できる状況ではないと思えます。例えば、不燃物を資源化するというのは、新しい部分であるので代表してここで作っていくという形になると個人的には思います。プラスチックの分別収集については、今、資源物の中間処理をしているところが対応できるのか、全体で作るべきなのか、いずれにしてもコストは必ずかかってきます。ただ、これをこの場で一括して作るべきだと決めるのではなくて、各事情を考慮して組織市町で検討していただいた上で方向性が出ないと、ここで議論してもまとまる話ではないです。ここで議論するのは、新ごみ処理施設の規模をどうするとか、なるべくコストを抑えるためにはどうするとか、住民サービスについてどう考えるのかということだと思います。ですから、これを入れるべきだというのは違うところで考えていただき、この委員会で検討すべき事項を出していただくのがいいと思えます。以上です。

【委員長】

基本方針としてどうするかということ、個別の問題をどう解決していくかという2つの方向性があるという気がします。今回に関しては、基本的な方針を固めていくというのが1つかと思います。基本構想の検討に係る委員会は、今後2回ありますので、次回以降、細かいところを絞り込んでいくという段取りになるという気はしています。細かいところいきなり入ってしまうと混乱してしまいますので、今日は基本的なところを押さえていきたいと考えています。

いかがでしょうか。他に何かございますでしょうか。

〔「特にありません」の声あり〕

(2)石巻広域圏における資源化の現状と集約化の可能性の検証ということで、現状分析に関しては御承認いただいたということでよろしいでしょうか。ありがとうございます。

(3) 新ごみ処理施設整備の基本理念、基本方針及び検討方針（案）について【資料4】

【委員長】

今日の本題かと思いますが、(3)新ごみ処理施設整備の基本理念、基本方針及び検討方針（案）について、事務局の方からお願いいたします。

【事務局】

それでは、議事の(3)新ごみ処理施設整備の基本理念、基本方針及び検討方針（案）について説明いたします。

〔資料4について説明〕

【委員長】

多岐にわたる説明ありがとうございます。抽象的なことも含めて、あと、多岐にわたってということなかなか具体的なイメージも湧きにくいところもあるかと思いますが、これは大事なところですので、忌憚のない御意見をいただければと思います。この件に関して御質問、御意見等、この機会ですので、是非、御発言いただければと思います。よろしくお願いいたします。

【委員】

方針4新たな処理システムの取組みのところで可燃・不燃粗大ごみの合理的な処理、これは不燃ごみ処理という新たな処理をしていくということなので、ここで整備するという形になると思います。プラスチック製品廃棄物の再商品化等、新たな施策への対応策を既存施設に全部つけられるかというのと、それは不可能だと思いますので、新しいごみ処理施設の中に

付加するというのは一般的な考え方だと思います。先ほど委員からもありましたように、今すぐにできないかもしれないですけども、選別施設の用地としてどのぐらい必要なのかを想定しておく必要があるのではないかと思います。もう1つは、各施設で色々と課題がある中で老朽化も進んでいくことへの対応については、この委員会で決め切れるところではないと思いますので、構成市町の方で議論をしていただいて、最終的にどうするのかというのは決めていただく方がいいかと思います。ただ、それを待つてからやるのでは問題があるので、面積とかについてはこれだけ必要だという形で、同時並行で進めたらどうかと思いました。以上、意見です。

【委員長】

ありがとうございました。非常に貴重な御意見があつて、進めながら考えなくてはいけないところもあるし、結構複雑な作業を進めなくてはいけないと思います。事務局の方から何かございますでしょうか。

【事務局】

資源化分の用地の面積の算出が可能であるかについては、委託業者のパシフィックコンサルタントさんと協議しなければならないので、ここで確実にやるとは言えませんが、意見としていただきましたことはそのとおりであると思いますので、可能であればお示しして、それを参考に議論できればと考えております。

【委員長】

最終的に1つに決めるのはなかなか難しいところがあるだろうというのも感じていまして、まず、いくつかのパターンを示すことができると第一歩という気がしますし、その中で、ある程度の優先順位をつけられると望ましいという気もしますので、いくつかのパターンが作れるといいという気はしています。

【事務局】

今回の分析結果では、資源物、燃やせないごみの量に対する埋立て割合として宮城県平均の13%に対し約倍ぐらい埋立てしているということで、こちらは新しい取組みの中で検討するとしておりますが、実装できれば、組織市町の最終処分場の埋立て量を減らせる非常に効果的な取組みと考えております。それだけではなくて、先ほど御意見いただきました、今後どのような形で組織市町の共通施策が進んでいくかを組織市町と協議しながら、この基本構想の中では、協議の進み具合によって効率的なごみ処理のために検討すべき事項はある

と考えておりました、そのため、将来のごみ処理システムの構築という文言を入れているところですが、10年後のごみ処理の状況については、組織市町の施策がどのように進んでいくか、その施策を組合としても連携し推進する必要があると思いますが、合意形成がなされていないことを基本構想の方針に置くことで、それが足かせとなってしまうこともあると思います。この場だけの議論ではなく、組織市町と調整し共通の施策に対して柔軟に対応できるように考えているところです。

【委員長】

ありがとうございます。ゴールは幾つかあるような気がしますけれども、少なくとも最終処分の埋立割合を低減するというのが1段目のゴールとしてあってもいいのかという気はします。最終処分場に直接埋立せざるを得ない不燃ごみを破碎することによって、最終処分の埋立量を減らすというのは2市1町共通の課題として取上げることができるのではないかと思います。ですから少なくともそこは押さえておきたいという気がします。そこから先は、資源化をどうしていくかで色々なパターンが出てくると思います。ここまでのところで、他に御意見ありますでしょうか。

【委員】

方針4新たなシステムの取組みの、プラスチック製品廃棄物の再商品化の部分ですが、まず石巻市の現状で言いますと、ペットボトルは民間委託です。プラスチック製品廃棄物の再商品化は、令和8年からを目指して民間委託を考えている状況です。なので、石巻市の施設はございません。東松島市と女川町は、施設は公設となっており選別作業等は民間委託というような形になっていますが、今後、老朽化が見込まれるので、機械の入替、施設の補修が出てくるという状況でございます。方針4新たなシステムの取組みのところに、基本方針の中で将来的に資源化施設の集約化を検討してほしいという思いもありまして、組合には相談をした経緯がございます。そのため将来的には、個別に委託をするのではなく、資源化中間処理について組合を中心として行うことが効率的であると考えられるため、基本構想に残してほしいと思います。それぞれ2市1町で個々に動いているので、すぐに集約化をして組合に全部やってくださいというわけではないですが、資源化に向けては2市1町で統一した場所でやった方が、今後、経費の削減にもなりますし、二酸化炭素の削減にもなると思っております。

【委員長】

ありがとうございます。ここは整理した方がいいかなと思います。資料4の2ページの方

針4 新たな処理システムの取組みへ戻っていただきますと、ここでは2つ問題があるかと思いますが。方針4 新たな処理システムの取組みの中の1つ目が、可燃・不燃粗大ごみの効率的な処理ということで、先ほど申し上げた最終処分場に直接埋立せざるを得ない不燃ごみを資源化する方向に持っていく、これに関しては2市1町共通の課題として取り上げることができるのではないかと思いますので、1つの方針として打ち出していいのかなという気がします。

今、委員から御指摘があったプラスチックの問題に関しては、別の問題が出てくるという気がしております、それぞれの組織市町での対策、対応が大分違うところなので、もう少し議論しておく必要があるかということで、これは御提案いただいたということで引き続き議論していくという形にさせていただいてよろしいでしょうか。

〔「はい」の声あり〕

【委員長】

ここで確認しておきたいのは、方針4 新たな処理システムの取組みの中の1つ目の可燃・不燃粗大ごみの効率的な処理に関しては、共通の認識としてまとめさせていただくということでもよろしいでしょうか。これは破碎処理することによって最終処分場の延命にもなり、より長期にわたって活用していくことができるという点では、この機会にきちんと押さえておく必要がある問題かという気がしますのでこれに関しては、御理解、御承認いただくということでもよろしいでしょうか。

〔「はい」の声あり〕

【委員長】

ありがとうございます。では、もう1つのプラスチック製品廃棄物の再商品化に関しては引き続き色々な課題を抱えているということで、継続審議させていただきたいと思います。よろしいでしょうか。ありがとうございます。他に何かございますでしょうか。

【委員】

資料4 新ごみ処理施設整備の基本理念、基本方針及び検討方針（案）を読ませていただいて感じたことは、出たごみをいかに効率よく燃やすかというところの比重が大きいと感じます。それは大事なことだと思うのですが、それだけではわざわざここに集って、私たちが新しい処理施設をどんなものにしていくのかという検討する意味が薄れるかと感じております。ごみの排出を通して、地球環境のことを考えると、本当に豊かな暮らしを考えると、豊かな暮らしとは何なのか、ごみの排出を抑えて、ごみにかかるお金を抑えて、違う

方向に使うということとかも考えられるし、大きな視点で、この石巻広域圏の住民として、ごみとどのように共存していくのかという視点があってもいいと感じます。基本理念と基本理念の設定理由がほぼ同じようなことを言ってるように感じられますので、基本理念の方に、暮らしをイメージさせる、どんなごみ処理施設にしたいのかというものがほしいと感じます。

それと、方針2 災害に対する強靱性向上には違和感があります。この文章を読むと、津波を想定したところに今度建てるのかとか、災害ごみに積極的に対応していくことも視野に入っているのかと私には読み取れます。方針1 持続可能で安定した運営というところにそもそも組込まれているようにも感じます。強いからこそ持続可能ですというのと、東日本大震災のことを出すのであれば、そこから私たち色んなことを学んだので、暮らしのこと、ごみと共存することに触れるべきなのかと思います。津波災害について出すことについては配慮が必要かと思います。

それともう1つ、これも配慮が必要ではないのかと考えるのは、方針6 圏域住民のための施設の実現のところ、災害時に一時的に避難所にできるとありますけれども、一時避難所として使えるような体制を常に整えておくのかというところが疑問です。それよりも先に優先すべきことがあるのではないかということ、一時避難所にできる場所とあることによって住宅地の近くに建てるのかということのも連想しうるのではないかと感じます。以上です。

【委員長】

ありがとうございます。今の最後の方の災害に関しては、これは理想というか、あったらいいなぐらいのもので優先順位としては実はもう少し低いのかなという気がします。今、どういう問題があるのかという現実的なところをしっかりと押さえて、それに対して対策をまず作っていくというのが、大事なところかと思います。そうした中で、先ほど燃やせないごみが多いということでしたけれども、例えばどれだけ資源化されているのかというのを数値化したような形で資料として示していただけると、委員の皆様も納得していただけるのかなと思いますし、色々と課題も出てくるのかなと思います。そのような数値化といいますか、もう少し具体的なところが見えて、イメージが湧きやすい資料の作成に関しては、次回までにもう少し検討していただければいいかと思います。今の委員の御発言に関して何かございますでしょうか。

【事務局】

新ごみ処理施設整備の基本理念（案）につきまして、いただいた御意見を参考に再度精査して、次回検討委員会でお示しできればと考えております。

方針2 災害に対する強靱化でございますけれども、こちらを基本方針に挙げた理由といた

しましては、国の廃棄物処理施設整備計画におきまして災害に対する強靱性が挙げられているためでございます。津波という表現は次回までに整理させていただきますが、津波だけではなく、内水氾濫もございますので、そのようなときに、例といたしましては、発電、受電設備を1階ではなく高階層に設置する、電気が止まった場合に仮に複数炉のごみ焼却施設であれば、1炉さえ動かせれば2炉目は1炉目で作った電力で動かせる、動かすことができればごみ処理を継続できる、更には処理に必要な燃料や薬剤の備蓄を持つとか、そういう意味合いでございますので、方針としては残したいと考えてございますのでご理解願います。

方針6圏域住民のための施設の実現の一時的に避難できる場所でございますが、近くで災害が起こった場合に一時的に來てもらえるようなことで考えております。

【委員長】

御意見いただければ、それに対して色々と情報提供できますし、国の施策も頭に置いておかななくてはならないという気もします。事務局の方から色々と情報提供いただければ、検討していく素材として活かしていくことができると思いますので、よろしく願います。他に何かございますでしょうか。次回もありますので、じっくり読んでいただき考えをまとめていただいて、次回に色々と引続き御発言いただければいいかと思います。

議事(3)新ごみ処理施設整備の基本理念、基本方針及び検討方針に関して意見を反映し修正を行い次回委員会で整理することよろしいでしょうか。

〔「はい」の声あり〕

どうもありがとうございます。こちらから用意した議事は以上になりますが、委員の皆様から何か御提案いただくような議題はございますでしょうか。

【委員】

方針1から6までありましたけれども、この順番は重要度に応じて1から6に決まっているのですか。2番目の強靱化がそもそも必要なものだったら、見せ方として、時代的な部分も含めて新しい施設の中で実現していくという3番がもっと上の方に來てもいいと思いました。

また、資料4で付けていただいた5ページの処理方式、どういうものが最終的に残さとして生成されますという資料ですけれども、例えば同じごみを処理したとき、どれくらいの量の最終的に残さとして出てくるのかというのも、処理方式を選定する上での目安として必要なのかなというところもありますので、もしそういうものがあれば、次回以降の資料で是非お示しいただければ大変参考になると思います。よろしく願います。

【事務局】

方針1から6の順番に意図はありませんが、先ほどいただきました委員の御意見を踏まえまして、順番は精査させていただければと思います。5ページ処理方式に関する資料ですが、基本計画にて具体的な処理方式の選定の際までは、お示しできるようにしたいと思います。次回委員会では、いただいた意見を基に整理し、その内容を補完できる具体的な内容を追加した資料にて議論いただければと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

【委員長】

非常に貴重な御意見、どうもありがとうございます。他に何かございますでしょうか。

〔「なし」の声あり〕

今回は、今回出された意見を基に、基本理念、基本方針及び検討方針に肉付けし、それを基に検討することになるかと思います。引き続きよろしくお願いいたします。では、議事は以上にさせていただきます。どうもありがとうございました。

4 その他

【事務局】

それでは次第4その他、委員の皆様からございませんか。

〔「なし」の声あり〕

【事務局】

次回の委員会の予定日でございますが、10月28日月曜日、午後2時から、こちらの会場で予定してございます。次回の委員会では今回いただきました宿題を整理いたしまして、パブリックコメント前の基本構想（案）ということで整理させていただきたいと考えてございます。どうぞよろしくお願いいたします。